

2009年6月24日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目14番3号  
株式会社トランスジェニック  
代表取締役社長 山村研一  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 IR・広報担当 森田貴子  
電話番号 078-306-0590

### 抗 GPCR モノクローナル抗体の発売について

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：山村研一、熊本県熊本市）は、GANP®マウス技術により開発した抗 GPCR モノクローナル抗体を研究用試薬として、2009年6月24日に発売いたします。  
このたび発売する抗体製品の詳細は以下の通りです。

製品名	容量	価格(税込)	製品コード
Anti Human FFAR2 Monoclonal Antibody (Clone No. 20D2)	50 $\mu$ g	57,750円	KX411
Anti Human GPR39 Monoclonal Antibody (Clone No. 8H11)	50 $\mu$ g	57,750円	KX412
Anti Human P2RY12 Monoclonal Antibody (Clone No. 2A6)	50 $\mu$ g	57,750円	KX413

販売方法：当社契約代理店（コスモ・バイオ(株)、フナコシ(株)、和光純薬工業(株)）を通じて販売  
年間販売見込：各50～100本

当社は、GANP®マウス技術（以下 本技術）を用いて高い特異性と親和性を持つ抗体を開発しています。そして、この結果得られた成果の一部を、研究用試薬として販売するほか、がんをはじめとした様々な疾病の新たな診断方法の開発研究に役立てています。

昨年度より新たに、本技術を活用して G タンパク質共役型受容体 (G Protein Coupled Receptor 以下 GPCR) をターゲットとした大規模抗体開発プロジェクトを開始しました。このたびの発売は、本プロジェクトの初めての成果です。

当社が GPCR をターゲットとした理由は、GPCR をターゲットした医薬品が非常に多く、創薬研究や基礎研究が多くの製薬企業、大学等研究機関で進められているからです。

今後も引き続き、抗 GPCR モノクローナル抗体の開発を進め、研究用試薬として国内外の研究機関に提供することで、生命現象の解明や疾病のメカニズム解明やこれらの成果に基づく創薬研究などライフサイエンスの進歩をサポートしてまいります。

なお、現段階においては、本件が当社の業績に及ぼす影響は軽微であります。重大な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

参考資料として、主な用語説明を添付しております。

## <参考資料>

用語説明：

### \*GANP®マウス技術

遺伝子改変マウス「GANP ®マウス」を用いて、親和性ならびに特異性の高い抗体を作製する当社独自の技術です。当社は、本技術を抗体関連の技術プラットフォームにおける基盤技術と位置づけ、自社製品開発に活用しているほか、製薬企業・診断薬メーカーなどへ本技術のライセンス供与を行い、ライセンス収入・ロイヤリティ収入の獲得をめざしたビジネスを展開しています。

#### ◆GANP とは？（GANP：Germinal Center Associated Nuclear Protein）

熊本大学阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生する B 細胞で発現しています。

#### ◆GANP®マウスとは？

GANP 遺伝子を導入したマウスです

参考文献：Sakaguchi N. et al., J Immunol. 2005 Apr 15; 174(8):4485-94.

### \*G タンパク質共役型受容体（G Protein Coupled Receptor：GPCR）

細胞膜の内側に存在する G タンパク質を活性化して細胞外から送られてきた様々な信号を細胞内の情報伝達系に伝える役割を果たしています。

現在市販されている医薬品のうち、半数以上がこの GPCR に結合し作用するものです。

### \*FFAR2 (別名：GPR43)

末梢血リンパ球・脾臓に発現していることから、免疫や炎症反応に関与することが想定されています。GPR43 欠損マウスを用いた研究から、脂肪細胞における GPR43 活性が脂肪生成を阻害し、血液中の遊離脂肪酸を減少させることが示されています。

### \*GPR39

グレリン受容体ファミリーに属する受容体で、胃・小腸・脳に発現しています。亜鉛イオンで活性化された結果、PEDF の分泌を増加させ、酸化ストレス・小胞体ストレス・細胞死から細胞を保護することが示されています。

### \*P2RY12

P2RY ファミリーに属する受容体で、脳・脊髄・血小板に高発現しています。ADP に応答して血小板が凝固する機能が損なわれている先天性出血性疾患患者では、P2RY12 遺伝子が 2 塩基欠損していることが示されています。

以上